



直方市議会議員 やすなが浩之 市政レポート

スピード
誠意あり

《2024年1月号》

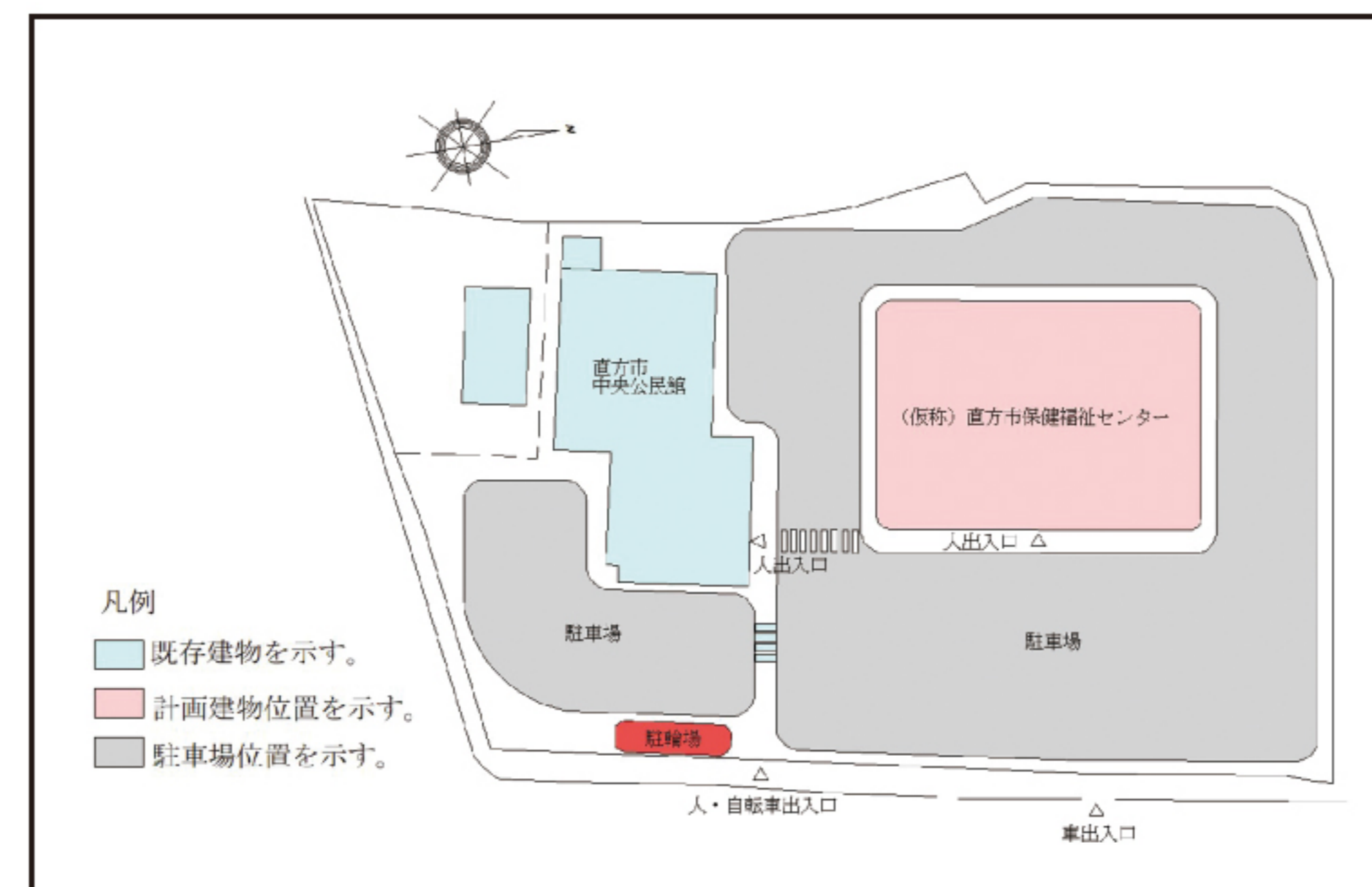
本市の大型事業①

(仮称)直方市保健福祉センターの建設

現在、内外装の仕上げなどの意匠設計、地震などの自然災害への安全性確保など、建物が倒壊しないように建築物そのものの構造に関する構造設計、建物内外部の配管や配線などの空調、給排水、電気設備等のインフラに関する設備設計を行っています。併せて敷地内にある最終的に解体する3棟のうち、健康福祉課別館と男女共同参画センター別館の2棟の解体に向けた設計を行い、解体工事に着手しております。また、予定敷地内にある民地の移転補償は完了しており、事業は着実に前に進んでおります。

基本構想

- ①各種の健診、教室、相談等、健康づくりの機能。
- ②社会福祉協議会、障がい者基幹相談センター等の福祉の機能。
- ③療育事業、発達相談、就学相談等の保健・福祉・教育連携機能。
- ④災害時のボランティアセンター等の福祉、災害ボランティア活動支援機能。
- ⑤適応指導教室の教育支援機能。



※全体完成イメージ

詳しくは、直方市HPで↓

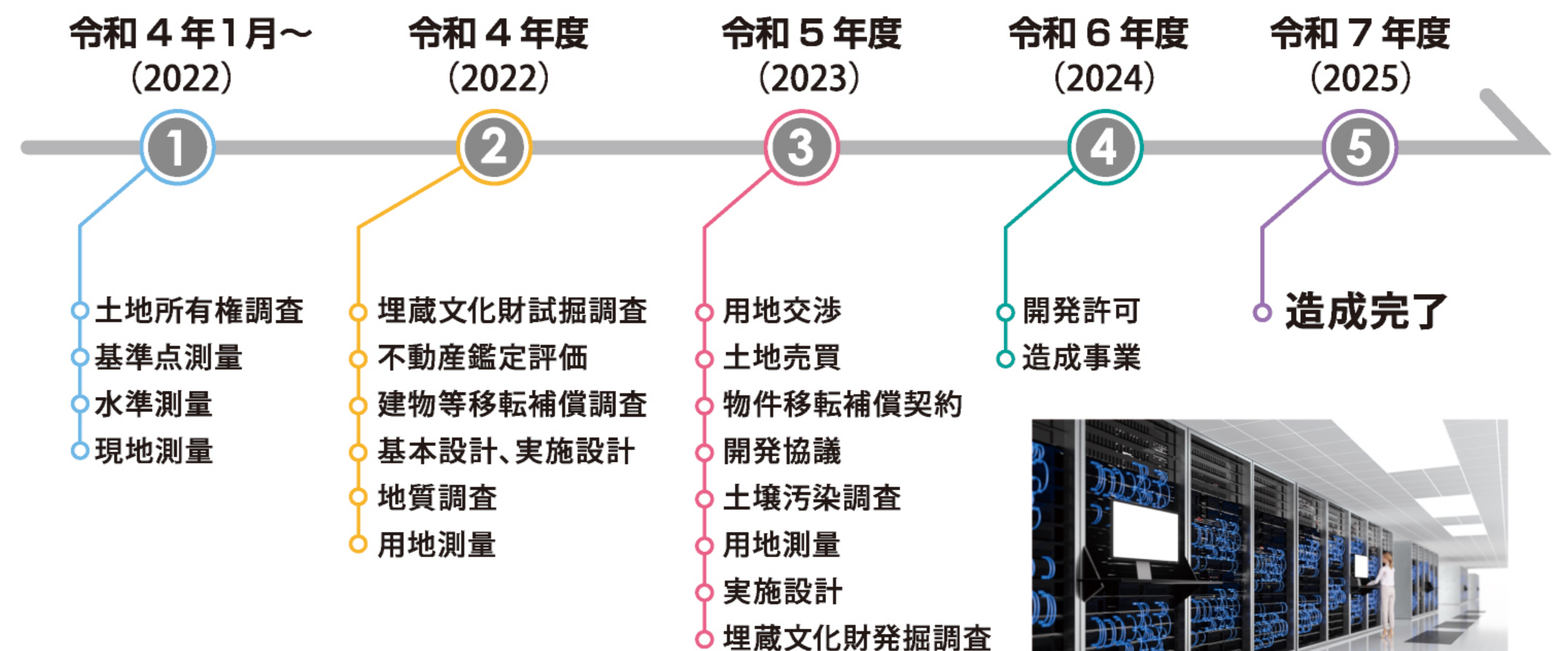


本市の大型事業②

直方・鞍手新産業団地の造成

福岡県の令和3年9月議会において、福岡県の服部知事が、「直方・鞍手地域において、県として早期の整備に向け検討する」ことを表明され、現在は、県において、産業団地の計画区域や土地利用などをまとめた基本設計を基に、産業団地内のレイアウトや公共施設等の詳細設計が行われています。この産業団地は、データセンター等の誘致を目指しており、令和6年度から造成が始まる見込みです。

造成事業のスケジュール



データセンターとは

分散するIT機器を集約設置し、強固なセキュリティの確保や情報漏洩に対する施策を効率よく運用することのできる専用施設のことで、インターネット用のサーバやデータ通信、固定・携帯・IP電話などの装置を設置・運用することに特化した建物の総称を指します。

今後、社会活動の様々な場面においてデジタル技術が実践され、インターネット上を流れるデータの流通量が爆発的に急増することが予想されることから、データを蓄積するデータセンターはデジタルインフラと呼ばれ、今後、重要な社会インフラとなります。



※写真はイメージです。

発行人：直方市議会議員 **安永 浩之**

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住所：直方市知古1丁目6番1号

メール：info@h-yasunaga.jp

電話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之 検索



ブログ



Facebook



LINE



直方市議会議員

やすなが浩之【4つの重点政策】

地域・産業

◆プレミアム商品券事業

消費需要喚起を目的とし、プレミアム率20%、発行総額1億2千万円の地域商品券を発行する事業を行いました。市民の皆様を優先して販売し、市内全加盟店で利用できる「共通券」と市内に本社を置く加盟店で利用できる「地域券」の2種類セットを発行しました。

◆中心市街地エリアマネジメント業務委託

商店街を含む中心市街地の将来ビジョン作成や賑わいづくりの体制支援を、まちづくり専門家に委託し構築中です。

◆観光体験プログラム開発業務

観光庁の補助対象となっているインバウンド消費喚起を目的とした観光体験プログラム開発を行っています。

◆創業支援事業

市内での創業を目指す者や事業を営む者などを対象に、直鞍ビジネス支援センターにて経営相談等を行っています。

医療・福祉

◆子どもの安心・安全対策支援

市内保育所等が保有するバスに置き去り防止の安全装置の導入に伴う費用の支援に加え、登園管理システムやICTを活用した見守りサービスを導入する費用の支援を行いました。

◆多世代交流スペースここっちゃん施設管理

中心市街地賑わいづくりのため、中心市街地商店街の空き店舗を改修した地域子育て支援センターが令和5年4月にオープンしました。交流エリア”ふらっと”は、(株)まちづくり直方が運営し、飲食・物販等の提供を行っています。

◆高齢者運転免許証自主返納に係る支援事業

75歳以上の高齢者が運転免許証を自主返納した場合に、一人当たり5千円分の交通系ICカードを交付します。



皆様にお約束した政策に関して

本市の状況を報告します!

教育・文化

◆学校規模適正化

直方市の目指す学校教育はどういったものか。その実現のために必要な学校はどのような規模なのかを検討するため、直方市学校規模適正化基本指針検討委員会を立ち上げ、検討を進めています。

◆奨学金返還支援

本市に住民登録があり、かつ、申請日から5年以上の居住意思・就業意思がある方とし、年間最大15万円(月あたり最大12,500円)を支援します。

◆基礎学力補充指導

直方市内小中学校の児童・生徒の基礎学力の定着を目的に、放課後、隣保館等で行われる補充学習や人権学習、当該学習に係る体験活動などを実施中です。

◆小中学校給食費無償化事業、幼稚園・保育所副食費無償化補助金

小中学校においては2・3学期の給食費を、保育園・幼稚園・認定こども園においては令和5年9月～翌3月までの副食費を無償化しています。

防災・減災

◆消防の広域化

総務省消防庁は、平成18年に消防の広域化の基本事項をまとめた市町村の消防の広域化に関する基本指針を各都道府県、市町村に通知し、消防の広域化を推進しています。また、基本指針の中で、消防の広域化の推進期限を令和6年4月1日と定めています。

直方市消防本部と直方鞍手広域市町村圏事務組合消防本部は、消防力の強化による市民サービスの向上と消防に関する行財政運営の効率化を目指し、直鞍2市2町にて広域化の協議を行なっています。協議については、調整に時間がかかる項目があり、調整事項の全ての合意を得るまでに至っていないことから、消防署所の整備や通信指令等の資機材の整備に対して国の有利な財政支援がある令和6年4月1日の広域化は難しい状況になっています。しかしながら、引き続き2市2町の首長による協議の場を設け、消防力の強化に向けた協議を行なっていく予定です。



【直方市の大型事業】直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

①(仮称)直方市保健福祉センターの建設

中央公民館周辺に建設する方針を軸に検討を行った結果、中央公民館敷地内に存在する健康福祉課別館、男女共同参画センター本館、同別館の3施設を解体し、その跡地に建設する方針となりました。現在は、内外装の仕上げなどの意匠設計、建築物そのものの構造に関する構造設計、建物内外部のインフラに関する設備設計、内外装の仕上げなどの意匠設計を行っています。また、予定敷地内にある民地の移転補償協議と健康福祉課別館等の建物の解体設計を終え、現在、解体工事に着手しております。

②直方・鞍手新産業団地の造成

市の長年の計画であった植木地区の産業団地計画について、データセンターなどの誘致を目指し、県と鞍手町とともに造成事業を行うこととなりました。現在、地元自治体に対応すべき測量委託等を実施中です。

③天神橋架け替え

築約85年が経過し老朽化が激しく、交通渋滞も頻繁に発生していることから、早期の架け替えが必要な橋梁です。現在、県が架け替えの計画を行っています。

④公営住宅建替事業

財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。

⑤直方市庁舎の改修事業

一昨年から、電気・空調設備の機器更新を行っています。今後も、平成25年度に作成した長寿命化計画に基づき順次改修を進めていきます。

